


1. 総論

【総括判断】「管内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している」








項目	前回（3年4月判断）	今回（3年7月判断）	前回比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している	

（注）令和3年7月判断は、前回4月判断以降、足下（7月末）の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある。生産活動は、生産用機械などが上昇しているなど持ち直している。雇用情勢は、感染症の影響がみられるなか、横ばいの状況にある。

【各項目の判断】

項目	前回（3年4月判断）	今回（3年7月判断）	前回比較
個人消費	持ち直しつつあるものの、足下では新型コロナウイルス感染症の急拡大の影響により減少している	一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある	
生産活動	持ち直している	持ち直している	
雇用情勢	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、下げ止まりつつある	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるなか、横ばいの状況にある	
設備投資	2年度は前年度を下回る見込みとなっている	3年度は前年度を上回る見込みとなっている	
企業収益	2年度は減益見込みとなっている	3年度は増益見込みとなっている	
住宅建設	前年を下回っている	前年を上回っている	
輸出	前年を上回っている	前年を上回っている	

【先行き】

先行きについては、感染拡大の防止策を講じ、ワクチン接種を促進するなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、国内外における今後の感染症の動向、金融資本市場の変動の影響等を注視する必要がある。

## 2. 各論

### 【主な項目】

#### ■ 個人消費 「一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある」

百貨店・スーパー販売は、百貨店ではインバウンドの減少など厳しい状況が継続しているものの、足下では国内客の回復など持ち直しの動きがみられるほか、スーパーでは飲食料品を中心に売上が堅調に推移している。コンビニエンスストア販売及びドラッグストア販売は、都市部や繁華街などの店舗では客足が戻りきらず厳しい状況が継続しているものの、住宅街などの店舗では売上が堅調に推移している。ホームセンター販売は、レジャー用品や園芸用品の需要等により売上が堅調に推移している。家電販売は、テレビやエアコンを中心に売上が堅調に推移している。乗用車の新車登録届出台数は、客足の回復等により堅調に推移している。旅行取扱の状況は、感染症の影響から、足下において厳しい状況が継続している。

#### (主なヒアリング結果)

- 足下では、ワクチン普及の影響もあってか高齢者を中心に来店客数が着実に増加しているほか、売上についても、高額品等を中心に持ち直しの動きがみられている。(百貨店・大企業)
- 前年の特需の反動はあるものの、足下においても客足や販売は前年を上回っており、在宅時間の増加に伴う内食需要等の定着から、飲食料品を中心に売上は好調を維持している。(スーパー・大企業)
- オフィスや繁華街の店舗は、客足が戻りきらず厳しい状況が継続している一方、住宅地の店舗は、在宅勤務や外出自粛による需要増加から中食商品が伸長する等、堅調に推移している。(コンビニエンスストア・大企業)
- 都市部や観光地等の店舗では、足下で少しずつ持ち直しつつあるものの、厳しい状況が継続している。一方、郊外店舗では客足は落ちておらず、売上も前年を上回るなど販売は堅調に伸びている。(ドラッグストア・中小企業)
- 前年の特需の反動により、食料品や日用品はやや落ち着きを見せつつあるものの、コロナ禍によって広まった趣味等の定着もあってか、足下においても、キャンプ・レジャー用品や園芸用品を中心に全般的に販売が伸びている。(ホームセンター・大企業)
- 足下で客足は落ちることなく、販売も前年を上回る水準を維持しており、引き続き好調に推移。買い替え需要によりテレビが好調であるほか、エアコンなど夏物家電も順調に伸びている。(家電量販店・中小企業)
- 半導体不足による部品供給の停滞から納期が遅れてはいるものの、客足は落ちることなく、受注についても良好で、総じてコロナ禍前の水準と同程度となっており、堅調に推移している。(自動車販売店・中小企業)
- 全体の業況としては非常に厳しい状況が継続している。6月以降は、ワクチン普及の動きからか問い合わせは増加しているが、予約が増加している状況ではない。先行きについても今後の感染拡大状況に大きく左右されるため、不透明感が強い。(旅行代理店・大企業)

#### ■ 生産活動 「持ち直している」

鉱工業指数(生産)でみると、電子部品・デバイスなどが低下しているものの、半導体や自動車関連等の需要増加から生産用機械、電気・情報通信機械などが上昇しており、生産活動は持ち直している。

- 半導体製造装置関連は、半導体メーカーの大型投資が計画されているなど、当面の間は高操業が想定される。(輸送機械・大企業)
- リチウムイオン電池関連は、世界的な電気自動車(EV)の普及に伴い、受注が好調。国内より中国、欧州などの海外向けの販売の比率が高い。(生産用機械・大企業)
- 液晶テレビなどの電気機器は、北米市場向けに引き続き受注が好調であるが、半導体など製造に必要な部品が5G関連向けなどに流れており、入手困難となっているため供給が追い付いていない。(情報通信機械・大企業)

#### ■ 雇用情勢 「新型コロナウイルス感染症の影響がみられるなか、横ばいの状況にある」

完全失業率はおおむね前年を上回って推移している一方、有効求人倍率は下げ止まっており、雇用情勢は感染症の影響がみられるなか、横ばいの状況にある。

- 客数が増加している状況にあり、人手不足感は継続している。(ホームセンター・大企業)
- 人手不足の状況が続いている。特に施工管理が不足している。(建設・中堅企業)
- 7月以降の夏場対策及び9月以降の増産対応として今後人手不足となる見込み。(生産用機械・中堅企業)
- 過剰気味。特に宴会やレストランの職員に関しては予約がなければ仕事がほとんどないため、休業を回しているような状況。(宿泊・大企業)
- 新型コロナウイルスのワクチン関連(会場設営、ワクチン運送、受付、コールセンター、データ管理など)で求人が大幅に増加しており、人が足りない状況。(人材派遣・中堅企業)

■ **設備投資「3年度は前年度を上回る見込みとなっている」**（全産業）「法人企業景気予測調査」令和3年4～6月期

- 製造業では、輸送用機械などが前年度を下回っているものの、生産用機械、電気機械などが前年度を上回っていることから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。
- 非製造業では、娯楽などが前年度を下回っているものの、金融・保険、建設などが前年度を上回っていることから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。

➢ 研究開発拠点の拡充、生産・物流体制の強化、基幹システム関係の投資などを計画。（生産用機械・大企業）  
 ➢ 昨年度後ろ倒しとなった、店舗の修繕やIT関連投資を今年度実施予定。（金融・保険・大企業）

■ **企業収益「3年度は増益見込みとなっている」**（全産業）「法人企業景気予測調査」令和3年4～6月期

- 製造業では、化学などが減益となるものの、情報通信機械、鉄鋼などが増益となることから、全体では増益見込みとなっている。
- 非製造業では、建設などが減益となるものの、運輸・郵便、小売などが増益となることから、全体では増益見込みとなっている。

■ **住宅建設「前年を上回っている」**

- 新設住宅着工戸数でみると、分譲マンションが減少しているものの、貸家などが増加していることから、前年を上回っている。

➢ 戸建・分譲住宅は住宅展示場への来場者数が増えてきており、契約数につながっている。マンションは立地の良い都市部の物件や富裕層向けの物件が好調。（建設・大企業）

■ **輸出「前年を上回っている」**

- 管内通関実績（円ベース）でみると、輸出は、アメリカ向けの建設用・鉱山用機械やアジア向けのプラスチックなどが増加していることから、前年を上回っている。なお、輸入は、前年を上回っている。

【その他の項目】

■ **企業の景況感**

法人企業景気予測調査（令和3年4～6月期調査）の景況判断BSIでみると、全産業では「下降」超となっている。先行きについて、3年7～9月期は、全産業では「上昇」超の見通しとなっている。

■ **公共事業**

前払金保証請負金額でみると、市町村や独立行政法人などで減少していることから、前年を下回っている。

■ **金融**

貸出金残高は、前年を上回っている。

■ **消費者物価**

大阪市の消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）でみると、住居などが上昇しているものの、交通・通信などが下落していることから、前年を下回っている。

■ **企業倒産**

倒産件数は、前年を下回っている。

3. 各府県の総括判断

	前回（3年4月判断）	今回（3年7月判断）	前回比較	総括判断の要点
大阪府	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している	➡	個人消費は一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある。生産活動は緩やかに回復しつつある。雇用情勢は横ばいの状況にある。
京都府	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある	➡	個人消費は一部に弱さがみられるものの緩やかに持ち直しつつあり、生産活動は緩やかに持ち直している。雇用情勢は一部に弱さがみられるものの緩やかに持ち直しつつある。
兵庫県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している	➡	個人消費は一部に弱さがみられるものの緩やかに持ち直しており、生産活動は持ち直しつつある。雇用情勢は弱い動きとなっている。
奈良県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している	➡	個人消費は一部に弱さがみられるものの持ち直しつつあり、生産活動は持ち直しつつある。雇用情勢は厳しい状況にあるものの緩やかに持ち直しつつある。
和歌山県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しつつある	➡	個人消費は持ち直しつつあり、生産活動は緩やかに持ち直している。雇用情勢は一部に弱さがみられるものの緩やかに持ち直しつつある。
滋賀県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直している	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直している	➡	個人消費は一部に弱さがみられるものの緩やかに回復しつつあり、生産活動は回復しつつある。雇用情勢は厳しい状況にあるものの緩やかに持ち直しつつある。